

アグベコさん / 鳴門教育大学

Mr. AGBEKO JULIUS KOFI / Naruto University of Education

<外国人研究者プロフィール Profile>

国籍: Nationality:	ガーナ / Ghana
日本留学時の滞在期間: Period of Stay During	2003年9月24日 ~ 2006年3月22日 Sep. 24, 2003 ~ Mar. 22, 2006
日本留学時の大学: Education Background in Japan:	鳴門教育大学学校教育研究科 / Naruto University of Education
専攻分野: Major Field:	理科教育学 / Science Education
現在の所属/職位: Present Institution / Status:	アクラ教育大学 / 講師 Accra College of Education / Lecturer



アグベコさん

Mr. Agbeko
(Accra College of Education)

<研究報告 Follow up Research Fellowship>

受入研究者氏名: Research Adviser:	小澤大成准教授 / Associate Prof. OZAWA Hiroaki
受入れ期間: Researching Period:	2010年7月30日 ~ 2010年9月29日 July 30, 2010 ~ Sep. 29, 2010
研究課題: Theme of Research:	基礎教育における科学に関連した教科の教授技術向上 / IMPROVEMENT IN THE PEDAGOGY OF SCIENCE RELATED SUBJECTS AT THE BASIC LEVEL OF EDUCATION IN GHANA, LESSONS FROM JAPAN.

■研究概要 Outline of Research



研究室におけるアグベコ研究員
Mr. Agbeko in researcher's room

研究目的はガーナの基礎教育段階及び教員養成段階における科学教育の教授技術向上である。今回は特にガーナにおいて導入が検討されている視聴覚教材の授業における活用を研究テーマとした。

岡山大学において実施されていたガーナ教員向け研修に参加し、ビデオを用いた授業計画及び授業実践について議論を行った。同時に視聴覚教材を用いた教育実践に関する教員及び生徒の意識を調査する質問表の作成を行った。徳島県下の小学校において、視聴覚教材を用いた授業実践を観察し、分析を実施した。

■研究成果 Result of Research

日本における視聴覚教材を用いた授業実践の特徴を把握する事ができた。小学校児童に対する調査票から、90%以上の生徒が、「ビデオを見るのが好き」、また「ビデオをみる授業は面白い」に同意し、好意的に考えていることがわかった。また視聴覚教材の特徴として78%の小学校児童が「直接見ることでできない世界のことがわかる」、68%の児童が「ならなかったことがイメージとして思い浮かぶ」に同意している。

一方「ビデオをみて分かった内容をよくおぼえている」に対し肯定的に反応した児童は54%、「ビデオをみて分かったことは自分の言葉で説明できる」に同意したのは43%であった。

視聴覚教材だけでは十分な理解につながらない事を児童自身も認識している。観察した授業から視聴覚教材とその他の活動を組み合わせて児童の理解につなげる教授法の重要性が明らかになった。また教師に対する視聴覚教材に関する意識調査の結果もこれを支持する。



視聴覚教材を用いた授業の観察
Observation of the lesson with
audio visual teaching materials

■日本留学の思い出 Memories of Studying in Japan

鳴門教育大学での留學生活の思い出として、阿波踊り、花火、大好きな寿司・刺身、わさび、渡し船そしてすばらしい鳴門の人々とのふれ合いが挙げられます。帰国してからもいつも思い出していました。日本において指導して下さった先生と同級生とはガーナにて再会し、共同研究を実施することができました。また2006年の11月に鳴門教育大学で実施された国際会議に招待され、ガーナの教師教育の現状と課題を共有することができました。